

第4期幸区区民会議 第1回専門部会（仮称）B部会

日時 平成24年8月30日（木）午後6時半開始

場所 幸区役所 プレハブ会議室

議 事 次 第

- 1 正副部会長の選出について
- 2 審議テーマの選定について
- 3 その他

回答は複数回答形式

地域の課題	取組方針(案)	取組内容(案)	幸区区民アンケート結果(2012.6)	幸区内での主な取組
<p>【高齢化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居・高齢者世帯・認知症発症率がさらに増加すると予想される。 ・生活弱者が増え、在宅支援に関するニーズが高まると予想される。 ・第3期の取組の中で、高齢者の方から地域コミュニティの場が欲しいとの意見が出た。 <p>【地域のつながりの希薄化に伴う孤立・孤独】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居・引きこもりで、社会参加できず、特に緊急時の対応に不便を感じている弱者がいる。 ・孤立死や虐待、悪質商法被害など、地域の福祉課題が深刻化している。 <p>【いざという時の支援体制の不十分さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災では、亡くなられた方の中で障害者の割合が非常に高く、多くの方に救助の手が届かなかった。 	<p>現状の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にやさしいまちにするために現状の点検をする。(バリアフリーの点検、買い物難民の実状など) 【戸張委員】 ・障害者・家族の方にアンケートや意見交換会を行い地域での実情を把握する。 【村田委員】 	<p><幸区への居住意向></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【問3:住み続けたい】 85.3% 理由「交通の便がよいから」 78.8%、 「買い物の便がよいから」 59.5% ・【問4:住み続けたくない】 14.2% 理由「交通の便が悪いから」 17.6%、 「買い物の便が悪いから」 14.4% 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ連合会と連携した、第3期区民会議主催のシンポジウム(意見交換会)の実施(24年度区内3地区で実施) ・幸区地域福祉計画策定に係るアンケート調査(24年度、第4期策定のためのアンケート調査を12月に予定、実施主体健康福祉局地域福祉課)、ヒアリングの実施 ・幸区地域福祉計画策定における推進検討会議、作業部会の開催による素案作成 ・地域交流会の実施(24年度、11～12月に2か所で地域福祉にかかわる団体の事例発表と意見交換・情報交換を中心に課題抽出等を行う)
	<p>相互理解の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会・自治会、老人クラブを通して隣近所の人々が、協力して相手の立場を理解しながら接近し、心を開かせる努力をしながら取り組む。 【酒井委員】 ・障害について理解を深める。 【村田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・【問15:地域の課題・問題点】「近隣の住民同士の関係が薄れている」 24.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりや大切さ、地域福祉について考えるきっかけづくりとしての地域福祉計画の策定 ・老人クラブと連携した、地域の身近な相談相手(情報発信の担い手)を養成する「ふれあい&すこやか事業」(講座、交流会)の実施(平成23年度河原町地区を対象に実施、平成24年度御幸西(古市場・東古市場)地区へ拡大) ・精神障害に対する正しい知識を普及し、地域における理解を深めるための精神保健福祉講座の開催(24年度、11月～12月に連続講座(4回、定員40名)を開催) ・さまざまな行事を通して、人と人とのつながりを大事にし、明るいまちづくりを進める町内会・自治会活動(盆踊り、運動会、地域の美化活動や防犯パトロールなど) ・各種団体等と連携したさまざまな世代が交流するイベントの開催(区民祭、日吉まつり、幸文化センター祭、さくらフェスタ日吉、多文化フェスタ、スポーツイベント(リレーカーニバル、バレーボール大会、グラウンドゴルフ大会など)、多摩川美化活動等)
	<p>誰もが交流できる場づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子どもの交流の場を作り、年齢層を超えた温かいまちをつくる。 【西野委員】 ・社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会の代表の方々の意見も踏まえ、現在ある(老人)いこいの家等とのかねあひも考えつつ、協力・提案する。 【神谷(厚)委員】 ・親子連れ対象のコンサートの開催 【神谷(美)委員】 <p>第3期幸区区民会議提言</p> <p>「高齢者など支援を必要とする方々のため、区民に『地域交流の場』や『日常生活のサポート窓口』の情報発信を進める」</p> <p>「夢見ヶ崎公園が多世代交流の場となるよう、子どもを中心としたイベントなどを継続的に実施する」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【問15:地域の課題・問題点】「近隣の住民同士の関係が薄れている」 24.2% ・【問22:区の高齢化について必要と思うこと】「生涯学習・教養・趣味などの高齢者同士の交流の場」 38.8%、「若い世代など多世代との交流の場」 16.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・区社会福祉協議会による陽だまりの運営(小倉、塚越の区内2地区) ・(老人)いこいの家での取組(いこいの家まつり、会食会、健康教室、教養講座等の開催) ・まちづくり推進委員会の取組(高齢者を対象とした会食会等の事例を調査・研究し、これを広めていく取組の検討) ・子ども文化センターの土曜日開所を活用し、地域の子育て支援及び父親の育児参加を促す「パパッとサタデー」の実施(23年度、6箇所で年72回実施) ・地域子育て支援センターによる子育て講座の実施 ・地域の親子が安心して過ごせる場として公立保育園の施設を開放して実施する「スマイル・ママ」の開催 ・地域の親子同士の出会いの場、安心して遊べる場としての幸区子育てフェスタ「ひろばであそぼう」の実施 ・地域の子育て支援団体が企画し親子で参加、交流を図るみんなで子育てフェアの開催(年1回開催) ・赤ちゃん相談、地域の子育てサロン等の支援 ・子育てグループの育成 ・「赤ちゃんハイハイあんのつどい」の実施(年1回、日吉中学校で開催) ・幸区提案型協働推進事業による移動動物園や屋外型の子育て広場「おでかけ“ぽかぽか”出張青空子育てひろば」の実施(区民会議第1期提言) ・各種団体等と連携したさまざまな世代が交流するイベントの開催(区民祭、日吉まつり、幸文化センター祭、さくらフェスタ日吉、多文化フェスタ、スポーツイベント(リレーカーニバル、バレーボール大会、グラウンドゴルフ大会など)、多摩川美化活動等) ・夢こんさとや街かどコンサート等の音楽イベントの開催

地域の課題	取組方針(案)	取組内容(案)	幸区民アンケート結果(2012.6)	幸区内での主な取組
<p>【高齢化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居・高齢者世帯・認知症発症率がさらに増加すると予想される。 ・生活弱者が増え、在宅支援に関するニーズが高まると予想される。 ・第3期の取組の中で、高齢者の方から地域コミュニティの場が欲しいとの意見が出た。 <p>【地域のつながりの希薄化に伴う孤立・孤独】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居・引きこもりで、社会参加できず、特に緊急時の対応に不便を感じている弱者がいる。 ・孤立死や虐待、悪質商法被害など、地域の福祉課題が深刻化している。 <p>【いざという時の支援体制の不十分さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災では、亡くなられた方の中で障害者の割合が非常に高く、多くの方に救助の手が届かなかった。 	<p>地域の見守り体制づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行、新聞販売店、牛乳屋さんにも見守ってくれるよう連携する高齢者の異変等にいち早く気づいて、住民同士で支援できるような、住んでいて良かったと思える幸区にしたい。【楳林委員】 ・行政などの広報活動の中で、隣近所の大切さ、つながりの大切さ、地域の住民に対して、近所の高齢者を見守ってくれるよう直接働きかける。【楳林委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・[問22: 区の高齢化について必要と思うこと]「気軽に相談できる人や場所」:62.9%、「近所での助け合い」:49.1% 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブと連携した「ふれあい&すこやか事業」の実施(平成23年度河原町地区を対象に実施、平成24年度御幸西(古市場・東古市場)地区へ拡大) ・第5期かわさきいきいき長寿プランによる「地域ケア体制の推進」(地域の身近な課題を解決するために、「地域包括ケア連絡会議」や「地域ケア連絡会議」を開催) ・ひとり暮らし等高齢者見守り事業の実施 ・ひとり暮らし等高齢者調査時に配布するひとり暮らしハンドブックの裏表紙に、連絡先等の記載欄を確保 ・まちづくり推進委員会の取組(救急や災害など万が一のときに備え、健康状態や投薬情報を記入した「セルフカード」を作成し、配布する取組を検討) ・区内のこども支援機関や行政によるネットワークを構築し、地域全体で子育てを推進する「幸区こども総合支援ネットワーク会議」の開催 ・こんには赤ちゃん訪問の実施(平成22年1月より開始) ・障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者福祉の関係者が幅広く参加し、地域の障害福祉に関するシステムづくりに関し、中核的な役割を果たすことを目的とした「幸区障害者自立支援協議会」の開催(月1回開催) ・青少年指導員による地域における定期的な巡回パトロール活動
	<p>日常生活における支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、健康相談、行政機関、交流の場等の窓口の情報を提供する。【神谷(美)委員】 ・日常生活に関するサービス(お知らせ・見回り・付き添い・買い物代行等)の充実にビジネス・ボランティア両面から取り組む。【古場委員】 ・傾聴活動を広げ、施設利用の高齢者だけではなく、在宅での介護者、子育て中の親、独居の方なども対象とし、精神面を支え地域のつながりを持つ。【鈴木(都)委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・[問15: 地域の課題・問題点]「高齢者を地域ぐるみで支える仕組みが不十分」:18.6%、「子どもや子育てを地域ぐるみで支える仕組みが不十分」:15.2% ・[問24: 区の子育て支援関係施設について知っているもの]「上記について全く知らない」:43.7% <p>第3期幸区区民会議提言 「高齢者など支援を必要とする方々のため、区民に「地域交流の場」や「日常生活のサポート窓口」の情報発信を進める」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センターだよりの配布(年3回、各回69,000世帯に配布) ・介護予防グループ支援事業の実施(地区りハビリ教室、高齢者地域グループ支援、健康づくり自主グループ、独居高齢者昼食会など、23年度には計242回開催し、4,505人が参加) ・楽しみながら健康について考える健康フェアの開催(年1回開催) ・健康づくりイベントの開催(ヨガ、骨盤・背骨体操教室、骨粗しょう症予防教室、「日本一だよ幸区」などの曲に合わせた体操など) ・「介護予防いきいき大作戦」の実施(介護予防に関する活動を地域で行い広める「いきいきリーダー」の養成や「上を向いてあるこう」などのなじみの曲に合わせて気軽にできる「介護予防かわさき体操」の取組推進など) ・民生委員等による日常生活への支援 ・老人クラブと連携し、地域の身近な相談相手(情報発信の担い手)となる「ふれすこサポーター」を養成、地域での活動推進 ・市民活動団体等による、区内における傾聴活動の推進
	<p>地域の活動人材や団体の育成・活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・＜シニア世代が地域で貢献できる仕組みづくり＞ ・高齢者が参加し活動する「参加型の計画と活動を意用する」研究開催(子ども通学路見守り、いこいの家などの環境整備、公園などの案内人など)【戸張委員】 ・人とのつながりをつくり、情報を発信していく。【春田委員】 ・＜次の世代を支える若い人の育成＞ ・町会の役員になり地域の様子を知らせる等【戸張委員】 ・＜団体間の連携＞ ・ボランティア団体の横のつながりを広げていく。目的・趣旨はそれぞれでも、どこかでつながっていく必要がある。【原委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・[問15: 地域の課題・問題点]「地域活動やボランティア活動への支援が少ない」:9.7% ・[問21: 地域活動活性化、住民の連帯感を生み出すために大切だと思うこと]「若年層や団塊の世代などが地域活動に参加できるような仕掛けの充実」:30.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が地域でつながりを持ち、健康の維持増進を図るため、住民主体の健康づくり活動を展開する健康長寿推進事業の実施(20～22年度:河原町地区でのモデル実施、23年度:日吉地区における事業実施、24年度:23年度同様に実施予定) ・老人クラブと連携した、地域における身近な相談相手(情報提供の担い手)となる「ふれすこサポーター」を養成する「ふれあい&すこやか事業」の実施 ・市民活動団体向けの活動支援コーナー(交流、印刷作業、展示)を設置(区役所、日吉出張所) ・まちづくり推進委員会の取組(市民活動団体・NPO法人・町内会等の市民活動を活性化させる仕組みや活動拠点のあり方を検討) ・子育て支援関係機関交流会の実施(年2回開催) ・すくすく子育てボランティア養成講座、研修会の開催(養成講座年1回、連絡会年5回の中で研修会2回) ・こんには赤ちゃん訪問員養成研修会の開催(年1回開催) ・傾聴ボランティア講座(年1回開催)
	<p>地域の魅力・情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・＜夢見ヶ崎公園の魅力発信＞ ・動物公園の充実、展望台や望遠鏡の設置、公園の歴史や国宝秋草文壺について学び、アピールする。利用者のマナー啓発や近隣町内会等によるゴミ拾い等も必要【鈴木(忠)委員】 ・＜区の花と木、の周知＞ ・今年度制定する、幸区の花と木を多くの区民に広める。学校や施設などには苗から子供達や地域の方々の方で育ててもらい、ふれあいながらみんなで育てる等【遊佐委員】 ・＜区民会議の周知＞ ・今までの取組も含め、PRをしていく。【近藤委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・[問5: 区のシンボルスポットとして紹介したいと思うところ]「夢見ヶ崎動物公園」:45.3% ・[問34: 夢見ヶ崎公園の魅力を上へ広めるために充実させていくとよいと思うこと]「動物園ガイドや飼育体験等による動物公園としての魅力発信」:49.0% ・[問21: 地域活動活性化、住民の連帯感を生み出すために大切だと思うこと]「祭りや伝統行事の活性化、地域の魅力発掘」:29.4% ・[問7: 提供してほしい行政情報]「区民会議での審議内容(地域の課題等)」:8.6% <p>第3期幸区区民会議提言 「夢見ヶ崎公園が多世代交流の場となるよう、子どもを中心としたイベントなどを継続的に実施する」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夢見ヶ崎公園への動物をモチーフにした案内サインの設置(平成21年度) ・夢見ヶ崎公園魅力発信実施計画に基づくハード面での整備(H23年度:アクセス道(南加瀬23号線)の整備、女性と子どものトイレ設置) ・市民100万本植樹によるヤマブキの植樹(平成23年度) ・日吉まつりの開催(毎年度) ・動物園まつりの開催(春・秋の年2回開催) ・小学5、6年生を対象に、動物園の持つ役割、動物との正しい接し方を説明し、飼育作業を共に行うことにより、正しく動物を理解し、自然や環境保護思想の育成を図る1日飼育体験「サマースクール」の実施(夏休み期間) ・夢こんさと実行委員会と連携し、夢見ヶ崎公園を舞台とした屋外コンサート「夢の星空コンサート」の実施(平成24年7月27日開催) ・子育てに役立つ情報の発信を目的とした情報誌「おこさまづさいわい」の発行 ・まちづくり推進委員会の取組(区の魅力発信等を目的とした、散歩道ガイドマップ(案)の作成検討) ・区民会議の情報発信(区民会議だよりの発行、区民会議フォーラムの開催、区ホームページでの情報発信、第3期区民会議でジャンパーを作成し委員が活動時に着用など)

第 4 期幸区区民会議 審議テーマにおける選定基準

項目	内容
協働性	区民が主体となり、行政と協働して行うにふさわしいか
実現性	区民会議での審議により、具体的な解決策が見いだせるか 実際に行動する主体が想定できるか
必要性	区民の関心が高く、解決が望まれているものか 既存の行政や区民活動では取り組みが未だ不十分なものか
緊急性	速やかに解決を図らないと区民生活に重大な支障が生じることが 予想されるか
公平性	特定の対象や地域に偏ることなく、多くの区民に関わる課題か

第4期幸区区民会議専門部会名簿

(仮称) A 部会	
審議テーマ(候補)	
地域防災 地域安全 自転車マナー エコ・環境 等	
氏名	推薦団体・公募
いしはら ようこ 石原 陽子	幸区自主防災連絡協議会
おしやま かねつぐ 押山 兼二	幸区交通安全対策協議会
かみや あつこ 神谷 厚子 (副委員長)	幸区子ども会連合会
こいずみ みいこ 小泉 実意子	川崎市幸区医師会
こんどう たえ 近藤 多恵	日吉のわッ実行委員会
すずき なみえ 鈴木 奈美枝	幸区保護司会
にしの きょういち 西野 恭一 (委員長)	幸区町内会連合会
ひるま まさはる 昼間 政治	川崎市幸商店街連合会
みほり はちろう 三堀 八郎	市民公募

(仮称) B 部会	
審議テーマ(候補)	
高齢者のサポート 障害者のサポート 地域コミュニティ 地域の魅力 等	
氏名	推薦団体・公募
かみや みわ 神谷 美和	幸区役所夢こんさあと 実行委員会
こば としみつ 古場 敏光	幸区まちづくり推進委員会
さかい きよし 酒井 清	幸区文化協会
すずき ただお 鈴木 忠夫	日吉商店街連合会
すずき みやこ 鈴木 都	市民公募
とばり かずよし 戸張 一吉	幸区老人クラブ連合会
ならばやし てるえ 榎林 照江	川崎市幸区社会福祉協議会
はら きよこ 原 紀代子	市民公募
はるた きみえ 春田 公江	市民公募
むらた せいこ 村田 清子	幸区民生委員児童委員協議会
ゆき えつこ 遊佐 栄津子	幸区 P T A 協議会

川崎市区民会議条例施行規則

平成18年3月31日

規則第28号

(趣旨)

第1条 この規則は、川崎市区民会議条例（平成18年川崎市条例第11号。以下「条例」という。）第4条第2項第1号及び第12条の規定に基づき、区民会議の組織に関し必要な事項を定めるものとする。

(課題の選定)

第2条 区民会議は、区民会議の委員が自らの活動等を通じて把握した課題及び区役所が業務を通じて把握した課題のうちから調査審議すべき課題を適切に選定するものとする。

(分野)

第3条 条例第4条第2項第1号に規定する規則で定める分野は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 防災又は地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野
- (2) 福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野
- (3) 子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野
- (4) 緑の保全、ごみの抑制など自然環境又は生活環境を向上させる分野
- (5) 産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野
- (6) 文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野
- (7) 地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野
- (8) 前各号に定めるもののほか、各区の地域特性に応じた課題に関する分野

(専門部会)

第4条 区民会議は必要に応じ委員で構成される専門部会を設置し、専門部会は専門的事項に関する調査検討を行うものとする。

- 2 専門部会に属すべき委員は、委員長が区民会議に諮って指名する。
- 3 専門部会に部会長を置き、専門部会に属する委員の互選により定める。
- 4 専門部会は、調査検討のため必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。
- 5 部会長は、専門部会の事務を掌理し、専門部会の調査検討の経過及び結果を区民会議に報告するものとする。

(委任)

第5条 この規則に定めるもののほか、区民会議の組織に関し必要な事項は、区長が定める。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。



幸区区民会議だより

発行: 第4期幸区区民会議

問合せ: 幸区役所まちづくり推進部企画課 電話: 044-556-6612 FAX: 044-555-3130 E-mail: 63kikaku@city.kawasaki.jp

第4期幸区区民会議がスタート

川崎市では、平成19年に区民の皆さんが中心となり、地域社会の課題解決に向けた調査審議を行う区民会議(任期2年)を各区で発足しました。

幸区では、平成24年7月に第4期幸区区民会議が発足し活動を開始しました。

地域の団体からの推薦と公募による20人の委員で構成され、平成24年7月23日に、幸区役所5階第1会議室で第1回目の会議を開催し、正副委員長の選出や企画運営部会・専門部会の設置、これから審議していくテーマなどについて審議しました。



第4期幸区区民会議委員の皆様

今期から新たに参加する11名(印の方)を含めた20名が、審議テーマごとに2つの部会に分かれ、2年間にわたり調査審議を行います。

【(仮称)A部会】安全・安心のまちづくり	
氏名	推薦団体・公募
いしはら ようこ 石原 陽子	幸区自主防災連絡協議会
おしやま かねつぐ 押山 兼二	幸区交通安全対策協議会
かみや あつこ 神谷 厚子	幸区子ども会連合会 副委員長
こいずみ みいこ 小泉 実意子	川崎市幸区医師会
こんどう たえ 近藤 多恵	日吉のわッ実行委員会
すずき なみえ 鈴木 奈美枝	幸区保護司会
にし の きょういち 西野 恭一	幸区町内会連合会 委員長
ひるま まさはる 昼間 政治	川崎市幸商店街連合会
みほり はちろう 三堀 八郎	市民公募

【(仮称)B部会】地域での支え合いやコミュニティ	
氏名	推薦団体・公募
かみや みわ 神谷 美和	幸区役所夢こんさあと実行委員会
こば としみつ 古場 敏光	幸区まちづくり推進委員会
さかい きよし 酒井 清	幸区文化協会
すずき ただお 鈴木 忠夫	日吉商店街連合会
すずき みやこ 鈴木 都	市民公募
とばり かずよし 戸張 一吉	幸区老人クラブ連合会
ならばやし てるえ 榎林 照江	川崎市幸区社会福祉協議会
はら きよこ 原 紀代子	市民公募
はるた きみえ 春田 公江	市民公募
むらた せいこ 村田 清子	幸区民生委員児童委員協議会
ゆさ えつこ 遊佐 栄津子	幸区PTA協議会

正副委員長の選出

委員の互選により、第3期に引き続き、次のお二人に決定しました。

〔委員長 ……西野 恭一 委員 (写真:右)
副委員長 ……神谷 厚子 委員 (写真:左)〕



2つの専門部会((仮称)A部会・B部会)における審議テーマ候補

第1回目の会議では、各委員が日頃の活動等を通じて地域課題とされていることを確認しあい、「安全・安心のまちづくり」と「地域での支え合いやコミュニティ」という2つのテーマを調査審議する専門部会を設置していくことになりました。

今後は、専門部会ごとに、具体的な審議テーマを選定し、調査審議を進めていきます。

【(仮称)A部会】安全・安心のまちづくり

委員から提案された取組テーマ	審議テーマ候補案
安全・安心の区民生活	地域防災活動の推進
震災等災害時避難所における避難者のストレス改善、アメニティ向上の支援サービス体制構築	
区民が「備えあれば憂いなし」と言えるまちづくりの提案	
防災・避難	
地域避難所の初期設置方法について	
自転車マナーの向上	自転車マナーの向上
自転車による交通事故の防止	
地域ぐるみで未来を担う子どもを守り育てる	子どもの安全
街路照明のあり方	暮らしの安全
ゴミの分別、ゴミの減量	地域におけるエコ・環境の推進
環境問題	
安全・安心の区民生活	健康づくり

【(仮称)B部会】地域での支え合いやコミュニティ

委員から提案された取組テーマ	審議テーマ候補案
高齢者に向けたサポートについて	高齢者のサポート
高齢者のための支援とコミュニティの場づくりについて	
社会構造の変化と共に生活弱者化が進む「概ね60歳以上の高齢独居者、老老・老障小家族、自宅介護家族など」の支援を目的とする、コミュニケーション向上と生活面でのバリアフリー化サービス(ビジネス&ボランティア)促進の体制構築	
独居、引きこもりなどで困っている弱者を救う	
地域社会での孤立・孤独をなくす取組の強化推進	
地域における高齢者福祉の充実について	障害者のサポート
第3期区民会議の「安心・思いやり部会」を引き継ぎ、新たに構築していく	
障害者のサポート体制と暮らしやすい地域づくり	地域コミュニティ活動の推進
子育て支援	
地域における傾聴活動の推進	
高齢者や子どもとの交流	
市民も含め、地域の連携を広げる	
夢見ヶ崎公園の魅力発信	地域の魅力発信
区の「花と木」について	

会議は傍聴できますので、ご興味のある方はぜひお越しください。

(傍聴者は先着順 20名 専門部会は5名)

幸区区民会議の詳細、開催スケジュール等の情報は、区ホームページにも掲載しています。

幸区区民会議

検索